



12月市議会

山根とみえ議員の一般質問

防災対策について

日本共産党の山根とみえ議員は、12月市議会の一般質問で
(1) 防災対策 (2) 高齢者の医療費助成について質問しました。
以下質問の要旨をお知らせします。

雪害の助成について

本年2月の大雪で、カーポートや屋根の崩壊、農業用ハウスの倒壊など被害が多数発生しました。カーポートなどの損壊に対して市は、粗大ゴミ処理手数料の減免を行いました。既に撤去した後だったとの声もあることから、今後情報を早く提供するように求めました。また農業用ハウスについても撤去や再建費用の助成が行われました。山根議員は被害にあった農業者を訪問しその後の状況について調査した声を紹介し、農業者の再建状況はどのようになっているか問いました。市は、撤去の9割が完了し再建に着手している。被害で農業をやめる方はいないと答弁しました。山根議員は今後も災害に備え適切な支援を行うよう要請しました。

土砂災害対策について

当市では土砂災害指定区域に指定されている区域は778箇所あります。本年6月の大雨では数箇所土砂災害が発生しました。山根議員は、6月の大雨で永田橋周辺の砂利採石場の砂利を保管する擁壁が傾き住民が非難した箇所について、その後の対策について問いました。市は各課と連携し業者と情報交換しながら、今後、このような事が起こらないよう対策をとっていきたいと答弁。

また、草花の平高橋の下の遊歩道脇の崖がえぐれている箇所を指摘し、早期に対策を講じるよう要請しました。市は、この地域は特別警戒区域に指定されている地域だが民有地のため、地権者の了解が得られれば道路保全ということから予算確保していきたいと答弁しました。

雨水タンク購入の補助制度復活を

大雨対策として雨水タンクの活用が役立つとされています。当市では以前、購入費の助成制度がありました。現在はありません。山根議員は、少しでも災害を防ぐためにもこうした補助制度を復活するよう求めました。市は、今後、国や東京都の補助制度の動向を注視していききたいと答弁しました。山根議員は市としてもぜひ前向きに検討するよう要望しました。

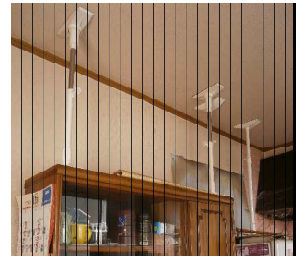
法律相談

1月20日(木) 13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。

住宅の耐震化・家具転倒防止の普及を

地震の備えとして住宅の耐震化と共に家具転倒防止、ガラスの飛散を防ぐ手立てが重要といわれています。当市でも耐震化の費用の助成制度がありますが、利用者は少ない状況にあります。山根議員は、助成費用をせめて近隣並みの50万円まで引き上げたらどうか問いました。市は助成金が多いから耐震化が進むとは限らない。自助が基本であり引き上げる考えはないと答弁しました。また家具転倒防止について、取り付けをシルバー人材センターなどに頼めるような仕組みがあるかとの問いに、市は、現在はないが市に相談してもらえればと答弁しました。



家具転倒防止

弱者の避難対策は？

障害がある方や高齢者など、弱者の避難対策はどのようになっているかとの質問に、市は、災害時要援護者登録制度において体制づくりに取り組んでいるが、現状では支援者の人数の確保が課題となっていると答弁。山根議員は、障害がある人は避難所では生活できないとの声を紹介し対応について質問しました。市はそうした方専用の避難所を設ける制度になっていると答弁しました。山根議員は、行政・地域一丸となって対策をとるよう要請しました。

高齢者の医療費助成について

日の出町では、5年前から75歳以上の医療費無料化を実施し医療費削減にもつながっています。さらに、本年12月議会ではその年齢を70歳に引き下げる条例案が上程されるとの新聞報道がされました。山根議員は、当市においても、75歳以上の医療費無料化や70歳から74歳までの医療費の軽減策を検討できないか問いました。市は、制度上、既に軽減措置が講じられている、更なる軽減については今後も医療制度の中でそのあり方を検討していくと答弁。山根議員は、自治体の本旨である住民の福祉の増進に税金を優先的に使うという考え方に立ち、今後、市独自に軽減策を検討するよう強く要請しました。